

月刊 おかじょうき

<http://www.okajoki.com/>

58654

誌上句会「0番線」

飯島章友・Sin 選

2019

9



「個」 飯島 章友 選	4
Sin 選	6
無人駅鑑賞「カンテラ」 むさし	8
会員雑詠集「無人駅」	13
■例月句会結果■	
おかげょうき川柳社8月例句会	23
十和田たてがみ川柳会 7月句会報	32
川柳吟行会「ぼ」 熊谷 冬鼓	30
■作品鑑賞■	
—奈良一艘がとことん深読む— 「深艘心理」 奈良一艘	12
Infomation	35～
第24回 杉野十佐一賞 作品募集	裏表紙

0番線

選 飯島 章友 「個」 題

【佳作】

- 孤独死も個性の一つスルメ焼く 青森県 葉 閑女
- 個人的に好きです腸の長い人 愛媛県 大西 進
- 野の花とひとりで咲いている日向 福井県 みつ木もも花
- 個性的顔からのを切り離す 愛知県 丸山 進
- 終活が続く一個のボタンから 青森県 坂本清乃
- 鉤カッコはずすとゆるむ石の貌 大阪府 笠嶋恵美子
- 三秒の個室へ誘うボーイズラブ 高知県 小野善江
- 子規さんのここストライクここアウト 愛媛県 中西 科
- 個人資産運用中のふんころがし 青森県 滋野さち
- 内臓の一つにそつと脅される 東京都 伊藤三十六
- 個体液体気体もみんな寄つといで 愛媛県 青野 舞
- 月夜茸のしづくを個室にもらう 徳島県 徳長 怜
- 居心地はわるくないその他大勢 青森県 高橋せい子
- 露草でんてん流し踊りが始まるよ 青森県 笹田かなえ
- 個性の枠もきじゆきじゆと朽ちはじめ 大阪府 小川佳恵
- 個人情報開示へ海苔の生返事 愛媛県 岡山フジエ

個性的メイク波乗りができそう

鳥取県 斉尾くにこ

お家断絶ミカン一個が手に残る

青森県 まき こ

強烈な個性は旨いカレー味

愛媛県 山内房子

花ぐもりしづかにうごく海胆の山

北海道 嶺岸柳舟

【秀逸】

複眼から取り出す7個目のいちご

島根県 石橋芳山

十七字抹消そこはみずうみに

青森県 守田啓子

飛翔体2発 たまごは何個まで

青森県 守田啓子

【特選】

子午線の枕詞になるビーズ

愛知県 安藤なみ

特選句。「子午線」「ビーズ」という大小、「ビーズ」「枕詞」という意表をついた結び付き、いずれの発想も身軽であり、驚かされた。しかもこの句では、言葉の関係性にきちんとアリバイが用意されているように思える。前者な

飯島章友 選評

ら装飾品に、後者なら枕詞の「玉」につながつていくだろう。ただ、「個」という題との関連が若干弱く、そこが悩ましかった。しかしそのマイナス点も、この句の出来からすればかすり傷程度といえるだろう。

0 番線

選 Sin 「個」 題

【佳作】

- 終活が続く一個のボタンから
奈良県 坂本清乃
- 楽茶碗一個これから生きてみる
奈良県 きむらまさこ
- 夫婦でも当てにできない股関節
愛知県 三好光明
- 存分にアザミとバラの個人戦
愛媛県 高橋こう子
- 個室から洩れるセシウムのため口
広島県 笹重耕三
- またひとつ追加だ亡妻の数え唄
新潟県 夏井せいじ
- 黒子という個性をもらうそして雨
青森県 まきこ
- 子規さんのここストライクここアウト
愛媛県 中西 科
- 一個目の結び目なおす昼下がり
静岡県 米山明日歌
- 停車場に捨てたのわたくしの個性
愛媛県 大内せつ子
- 聞き耳を立てる個室のトリカブト
愛媛県 岡山フジエ
- 個人的には鋭角ごとき許している
秋田県 帆
- 太陽の塔誰の指図も受けません
愛媛県 柳田かおる
- 裏切りはピーマン一個ほどのこと
高知県 立花末美
- ホテルがひとつ満月に向かつてる
青森県 笹田隆志
- 個個包装で届くそれぞれの静寂
岡山県 しばたかずみ

やっぱりね檸檬が一個置いてある

奈良県 ひとり静

わたくしが舌で浸食されてゆく

福岡県 もりともみち

個人的主観で夏を縫い合わす

鳥根県 石橋芳山

孤独死も個性の一つスルメ焼く

青森県 葉 閑女

【秀逸】

一個だけあなたの部位が好きでした

愛媛県 大西 進

思うよね 月は自分のモノつてさ

青森県 吉田吹喜

マリオの命 百個に増えた 朝がきた

愛媛県 吉原美佐

【特選】

胎内でわかった父親の素性

東京都 伊藤三十六

厚生労働省が発表した平成30年度の児童相談所での児童虐待相談対応件数は約16万件と過去最多となった。虐待によって死亡した子どもはここ数年、50人ほどで横ばい状態だが、加害者の8割が実の父母である。

「胎内でわかった父親の素性」

選 評

作意はどうかかわからないが、ある虐待の物語の書き出しのような、不気味な残酷さを私は感じてしまう。子どもを「一人」ではなく、「一個」と認識している父親の暴力と、身ごもっている母親の悲鳴と、胎児に刻み込まれる恐怖、そんな映像が脳に流れた。

Sin

「マリオの命」の句は、着地がもつたいなかった。ヴァーチャルなマリオとはいえ、命を個で数える違和感を下五でもっと上げられるはず。「部位が好き」は、ある日突然、「あなたの肝臓が好き」とか言われたら、「東京喰種」みたいでオモロイなど。

【0番線「個」：投句者97名】大西進・高橋こう子・高橋五郎・大葉美千代・伊藤三十六・潮田春雄・笹重耕三・斉尾くにこ・木下草風・稲見則彦・山本毅・三好光明・吉田州花・柳谷たかお・千葉かほる・尾上宏・渡邊こあき・中川喜代子・木村美映・みつ木もも花・星野美根子・星井五郎・寺川弘一・丸山進・米山明日歌・須藤しんのすけ・吉松澄子・芝岡勘右衛門・竹内知子・星出冬馬・渡邊寂隆・久保田清美・夏井せいじ・石澤はる子・山内房子・笠嶋恵美子・まみどり・ひとり静・吉原美佐・滋野さち・城水めぐみ・郷田みや・青砥和子・一帆・大河富美子・立花末美・山本カヨ子・福力明良

上村脩・しばたかずみ・高橋せい子・高畑俊正・平尾正人・三宅保州・嶺岸柳舟・中西科・永見心咲・丸山健三・青野舞・中野敦子・石倉多美子・佐野由利子・小野善江・上原稔・吉見恵子・柳田かおる・吉田吹喜・城後朱美・もりともみち・岩根彰子・村上あつこ・安藤なみ・石橋芳山・本田醇子・西村寛子・笹田隆志・小川佳恵・笹田かなえ・守田啓子・熊谷冬鼓・葉閑女・徳長伶・三浦蒼鬼・まきこ・土田雅子・笠嶋恵美子・鎌倉俊一・坂本清乃・山内もところ・鳴海賢治・上嶋幸雀・田中なお・大内せつ子・高市すみこ・太田のりこ・きむらまさこ・岡山フジエ（順不同）

「無人駅」抄

カンテラ

おかしょうき川柳社代表

むさし

今年は冷夏だろう、なんて言っていたのに、ねぶた期間中「暑くて寝られない」と騒いでいた。

8月旬会は3日で、ねぶた祭の2日目。旬会が跳ねてからの懇親会に参加する人がいつもの月より少なかった。祭り期間中、青森市内は人が溢れている。人混みが苦手な私は、ねぶたを見ることもなく早々と村へ帰った。

それでは、カンテラに明かりを灯しましょう。

A群

俎板の上の私を捌けるか

香田龍馬

鳴海賢治さん、朝はパン食ですか。コーヒ、フランスパンのローストビーフサンド、オムレツ、野菜サラダ、牛乳ってあたりでしょうか。フランスパンは「塩で味を付け皮を固く焼いたパン。普通、拳（こぶし）形、また細長い形に作る。バゲットなど。」（広辞苑第七版）だけど、中に「風見鶏」がいるとは思わなかった（笑）「風見鶏」は「①鶏にかたどった風見。西洋で教会堂の塔上などに装置。②比喩的に、定見を持たず大勢の動向にすぐ順応する人。」（広辞苑第七版）。この句の「風見鶏」は②でしようね。フランス政権のことかな…。「風見鶏」と「八方美人」、どこがどう違うんだろ。

B群

愛国心競う黒くない烏 月波与生
周五郎がいる霧雨の合浦亭 渡邊こあき
失った方の箱から薔薇の息 米山明日歌
午前二時五目あんかけ哭いている 笹田隆志
日は昇り日は落ちてゆく手の窪み 吉見恵子

お互いの狂気に触れぬ時間帯

斎藤泰子

紫陽花が美しすぎて邪魔になる

まみどり

おさがりの色鉛筆に白が無い

向山タエ子

中八は禁錮四年でも良いんじゃない

須藤しのすけ

返信もできず安酒選んでる

葉 閑女

私からあなたを抜いて残る穴

村上あつこ

アジサイは一部始終を聴いていた

熊谷冬鼓

余白には乱雑にまっすぐに芒

吉田州花

穏やかな相になるまで棘しゃぶる

きんぎ彼句吾

フランスパン切っても切っても風見鶏

鳴海賢治

バカ言ってください夏の海だから

石橋芳山

プライドはパンツの横に干してある

芝岡勲右衛門

脱ぎ捨てたスポン勝手に歩き出す

滝尻善英

滝尻善英さん、変わった「スポン」を愛用してますね。もしかしたら、どこかにAIが仕込まれていて、「ちょっと話し足りなかったので、もう一回行って来るわ」なんて、さっきまでいた喫茶店へ「スポン」だけ戻っちゃったりしてね（笑）「削られた鉛筆勝手に句を作る」ってのもありかな…。

C群

堂々と昼寝しているタチアオイ 小野五郎
草を刈り高速数珠は動きだす 高瀬五郎
今日中に着くには少し南極だ 田久保亜蘭
波無音笑わない人の死亡率 守田啓子
一日に一回は「べ」になる時間 奈良一艘

小野五郎さん、「タチアオイ」って昼寝するんですか？
知らなかった。わが家の周りでも見かけるけど、あれって古い時代にヨーロッパから来たそうですね。何しろ万葉集や源氏物語に登場するっていうんだから。空に向かってまっすぐ2メートルほど茎を伸ばし、赤や黄色・紫などのラッパに似た花を茎に直接をつけるんだけど、私には「昼寝」しているように見えません。でも、不思議な目とパワーをお持ちの五郎さんには「昼寝」していることが分かるんでしょうね。目を開いて真っ直ぐ前を見ながら眠っているタチアオイくん、バシてますよ！あれ？「タチアオイ」って、花びらをバラして鼻の頭にくっつけニワトリになる遊びをしたあれじゃない？今、思い出した（汗）

嵐清五郎さん、「高速数珠」が分かりません。「こうそくじゅず」って読むんでしょ？で、ネット検索したら1件ヒット！ラジコンの車でレースをやっている人のブログでした。プラモデルのレーシングカーをどんでもない「高

いる。今にも時が止まりそうじゃないですか。で、そこから「笑わない人の死亡率」と強引に句を屈折させるところにもドクがあります。ところで「笑う人の死亡率」とか「笑わない人の死亡率」なんて統計があるのでしょうか？私が村役場にいた頃はなかったけど…。統計の話は別にして、「笑う人」と「笑わない人」の死亡率には明らかな差がありそうですね。たぶん、「笑わない人の死亡率」が高い。あれ？啓子さんもつと違うこと言ってる？

奈良一艘さん、何ですか、この「ペ」は。一艘さんはどっちでも構わないんですが、平仮名か片仮名かも分かりやしない。広辞苑を引いたって『「へ」の半濁音。両唇を合わせて破裂させる無声子音 [p] と母音 [e] との結合した音節。[pe]』と淡い屁のようなことしか書かれていない。なので、頼みの綱のネット検索をする。と、ウィキペディアに「ペ・日本語の仮名。／裴・朝鮮人の姓のひとつ。ペ・ヨンジュン・韓国の俳優。」とあった。

速」で走らせる。それが、十数台「数珠つなぎ」になって先を争うので「高速数珠」だった。清五郎さんは、プラモデル用レーシングコースの草刈りをしているのかな…。実は僧侶が本職で、墓地の草刈りを済ませ次々墓を回って御布施を稼いでたりしてね（汗）

田久保亜蘭さん、相変わらず宇宙人してますね。「今日中に着く」って、どこへ向かっているの？ま、どこへ向かってもいいけど、「少し南極だ」って言い方あんまりじゃないですか。「南極」って、昭和基地のあるところだよ。日本から直線距離で1万4千キロもあってちよつとどころじゃないんだよ。でも、私や、その「少し南極だ」が気に入ってここに取上げられたのだ。やべえ、亜蘭ドクが回ってきたかも、用心用心。

守田啓子さんの句にもドクがあります。上5の「波無音」からしてそうです。波って「ザブン」とか「ザバー」とか音を出すのが普通なのに、わざわざ「無音」にしてそれと、もうひとつヒット。それは…「文化の中心と周辺における平和観の相違」ところで、平和の観念は時代とともに変化する。今日では、〈協定の締結 pactum〉および〈戦争の不在 absentia belli〉とごう意味でのパクスが英語のピース peace、フランス語のペ・paix などとなつて、理論的にも、実践的にも支配的な観念として世界に広まっている。（後半省略）

と、何だか難しい。平凡社世界大百科事典だものな…。ここまで来ると、私は頭を抱え込むしかない。というところで、「ペ」の正体は依然不明のままである。「料理人・川柳人奈良一艘氏は午後8時になると韓国マッサージ・チェーンのボス兼闇の大統領ペ・リョーイチにすり替わる」といううわさがある、わけでもないし…、パリあたりで「ペ」「ペ」「ペ」とさえずっているわけでもないだろう。あ、あ、あ、ドクがまわってきた。一艘氏には、マンモスを苦もなく倒せるほどのモードクというものがあつてホントかな。

深艘心理

わかりやすく言うと毛のような人

Sin

(おかしようき7月号より)

基本的にこの「深艘心理」のコーナーでは毎月一人づつ計12人の句を取り上げてゆくつもりでいたのだが、今月はどうしてもこの句の前から離れられなくなってしまった。Sinさんは2月号に続き2回目になるのだがどうかお許しを願いたい。

さて、「毛のような人」ってどんな人なのだろうか？

一言で毛といっても色々な毛がある。動物や植物の毛であればどのように表現するだろうか恐らくは人間の体毛。

1. 毛髪
2. 腕や足の毛等
3. 髭
4. 脇毛
5. 胸毛
6. 鼻毛
7. 恥毛・陰毛

髭だったらその通りに書く筈だし4以下はちとバツチいので1か2。毛髪はある意味フアッションでもあり自己を主張する手段でもある個性。腕や足の毛は剃っても

剃っても生えてくるしだんだん根太くなってゆく、いわゆるムダ毛。最近の若者達はそれを嫌って永久脱毛とかお金をかけているそうだ。

川柳は基本的に自分を詠む文芸の筈なので作者は1か2のどちらかを自分だと言っているのか：

まあよ、もしかしたらなかなか人には見せられない恥ずかしい部分を隠す存在の毛：だと白状しているのか、うーむ。

まるでボクサーが試合の途中で両腕をダランと下げ無防備に見せかけ相手が打ってきた所をすかさず打ち返すクロスカウンターを見ているようでチト怖い。

Sinさんの「明日のジョー」は何かとてもない闇を抱えているようだ。

無人駅

おかしようき川柳社会員雑詠集

★無人駅8月間賞

古紙縛る波打ち際はこのあたり

熊谷 冬鼓

米山明日歌【よねやまあすか・静岡県長泉町】

失った方の箱から薔薇の息
火消し壺にいられて終わらす分身
水遊びそして終わりは泥まみれ
道草の終わるころにはキズだらけ
夏になる入り口ならば2つある

先月号のお気に入り
責任も取らずに上がるにわか雨 きさらぎ彼句吾
責任をとらないのが、にわか雨の怖さですね。

渡邊こあき【わたなべこあき・青森県青森市】

半ドアでいつもぶつかる鶴と亀
周五郎がいる霧雨の合浦亭
男手を要らないときに出してくる
飲みますか美味しい話ありますよ
オクターブ弾けない指で引く弓矢

先月号のお気に入り
くしゃくしゃと丸めて二人ほど捨てる 石橋芳山
見事な断捨離です。

岩根彰子【いわねあきこ・京都府京都市】

機関車がオールフリーでぐぐつと
聞いた風体コロコロンやセミコロロ
黄瓜畑の八月の息薄荷味
箱階段の十三段目は偽痛風
生漆の様だ返り花のようで

先月号のお気に入り
不倫の条件ならすべて揃ってる Sin
フムフム。

小野五郎【おのごろう・青森県青森市】

旅人の木にぶら下がるヘネラリフェ
堂々と昼寝しているタチアオイ
竹ぼうきモノリス七百二十円
スサノオの薄桃色のパンタロン
ズブズブの天の河ならここにある

先月号のお気に入り

安藤なみ【あんどなみ・愛知県瀬戸市】

やすらぎを髪に灯して蛍去る
入道を騙して飛んだ糸みみず
前列はドライアイスな某の顔
イクメンに憑りつくエプロンのフリル
首狩り族のランチ筍が美味い

先月号のお気に入り
空は落ちない愚かさに気付いても 吉田州花
安心しました。

石橋芳山【いしばしほうざん・島根県松江市】

バカ言つてください夏の海だから
こんなところでも突くか夏の奴
火車走る肩甲骨を齧る夏
右脇の甘さを夏が斬りつける
袈裟懸けに斬られて夏のアスファルト

先月号のお気に入り
ビットコインで買うパチモンの島根県 月波与生
値の下がったビットコインでも買ったのは、パチモンの
島根ぐらいでしたか、へへ

きさらぎ彼句吾【きさらぎあきあ・青森県弘前市】

赤チン塗つてもバター塗つても穴は穴
タピオカがこみ上げてくる別れ際
大阪のおばちゃんだった勝手口
外交仕様になるまで起毛させてゆく
穏やかな相になるまで棘しやぶる

先月号のお気に入り
カオス理論そのあと誤嚥はじまった 鳴海賢治
近頃誤嚥するのは…かな(笑)

木村美映【きむらびえい・青森県青森市】

フレディに較べて反りが五度浅い
敗者には時間は与えられないぞ
殉教者を求めてフリーズする画面
十三段のぼつて四畳の落とし穴
持ち時間使い切つての二枚腰

先月号のお気に入り
狂気とは街に溢れる正義感 一帆
群集心理ってやつでしょうか？

香田龍馬

【こうだりょうま・青森県大鰐町】

持っているだけで刺したくなるナイフ
もう少し待って下さい 五十年
こんこんと論されている黄泉の使者
俎板の上の私を捌けるか
あまりにも空腹なので死ねません

先月号の
お気に入り

熊谷冬鼓

【くまがいとうこ・青森県青森市】

アジサイは一部始終を聴いていた
鳳仙花言葉足らずを弾いてる
筋肉のウダウダやがてを置いてゆく
棄てますね足手まといにならぬよう
だみ声の青鷺がゆく雨上がり

先月号の
お気に入り

折り曲げた一日なんちやらかんちやら 石橋芳山
一日を折り曲げるなんて…大人の事情ってやつですか

芝岡勘右衛門

【しばおかかんえもん・神奈川県横浜市】

いてえよーいてえんだよーおろしがね
プライドはパンツの横に干してある
ごろ寝して人の部分を撫でている
沸騰中 地団駄踏んでいるポット
そのままが どぶんどぶんと手水鉢

先月号の
お気に入り

生きている東京ドーム五杯分 奈良一艘
あつけからんとしたエネルギーを感じます。

鳶清五郎

【しませいごろう・滋賀県米原市】

ブルーギル日本の水に慣れました
負けてから兎それから不機嫌だ
どうします思われますが梅雨ですよ
頑張れよ政党補助を取らぬ党
草を刈り高速数珠は動きだす

先月号の
お気に入り

斎藤泰子

【さいとうたいこ・秋田県大館市】

真実はあなたをあたためるだろうか
お互いの狂気に触れぬ時間帯
明日泣かぬ為の涙を許し合う
そうねえとまずは肯定するセリフ
じだらくを恥じては窓の大西日

先月号の
お気に入り

ここまでは生きて違った道だけど 北野岸柳
誰も彼も我が身に降りかかった道を歩いてる。違った道
でもお日様は毎日昇る。

笹田隆志

【ささだたかし・青森県青森市】

午前二時五目あんかけ哭いている
月に向かうサインコサイン玉子焼き
雨上がる秩父宮のトコロテン
母さんの眼鏡をかけて顔洗う
改憲の階段降りる青いバラ

先月号の
お気に入り

城後朱美

【じょうごあけみ・福岡県八女市】

義理を欠く穴がだんだん太くなる
時々娘時々はお母ちゃん
ベタベタの仮面夫婦になる夜明け
初盆の相談夫はもういない
さりとても娘二人に気を使う

先月号の
お気に入り

ありがとうってさよならだった 一帆
「ありがとう」って夫婦の間ではあまり言わない。最後の
言葉がありがとうなんだね。

S i n

【しん・青森県外ヶ浜町】

東京復興 それからのゴジラの生殖器
戦争になるし ドラえもんもいないし
微用工というより これはクリリンの分
四星球と孤独死を交換する
その日から雨は眼を合わそうとしなかった

先月号の
お気に入り

せつぷんのぶんは怒ってなどいない 松谷早苗
オンナはホントにわからん(笑)

須藤しんのすけ

【すとうしんのすけ・青森県弘前市】

骨盤に妻子ありきの薔薇のジャム
試されるイヴが前借りした生命
色眼鏡西瓜手花火巴里雨天
中八は禁錮四年でも良いんじゃないかね
少しずつつい人になる交差点

先月号の
お気に入り

無伴奏でいい 夕焼けだけでいい まきこ
いつもの居酒屋にひとり居ます。一緒に飲みませんか？

田久保亜蘭

【たくぼあらん・秋田県五城目町】

ちっぽけな事なんですすがカレと呼ぶ
ジャガイモのような奴からメロン産む
今日中に着くには少し南極だ
エンジェルの翼にしがみついた負け
2/3以上はもう僕じゃない

先月号の
お気に入り

瀧尻善英

【たきじりよしひで・青森県八戸市】

脱ぎ捨てたズボン勝手に歩き出す
争いは嫌い生き方変えてみる
ウイルスの世界で生きているヒト科
韓流のドラマに就寝奪われる
森羅万象誰もが祈る平和の灯

先月号の
お気に入り

ネガティブを極めてポジティブが生まれ 木村美映
落ち込んだ時に中島みゆきの曲を聴くと、心が癒され、
ポジティブになるとか。特に「糸」はイイですね。

月波与生

【つきなみよじょう・宮城県仙台市】

愛国心競う黒くない烏
お互いが最後の友よアカシアよ(偽)
別れゆく旅だ昨日の雲でいる
戦闘機沈んだ海へパージされ
岩波の「津軽」を旅でみる津軽

先月号の
お気に入り

大根ざくざく百回離婚する 土田雅子
百回と雑にいい切つてるところがいい。いわゆる百人斬
りである。

土田雅子

【つちたまさこ・青森県青森市】

西風は嘘つき東風待つてみる
慰めの言葉がしどろもどろです
潔白な嘘があつてもいいじゃない
夫の言い訳に当てる聴診器
まやかしの愛でも取っておきたいの

先月号の
お気に入り

責任も取らずに上がるにわか雨 きさらぎ彼句吾
必然のにわか雨に心の行き所がないのです。

奈良一艘

【ならいつそう・青森県弘前市】

定年のエンゲル係数「ニイタカヤマノボレ」
一日に一回は「ペ」になる時間
みんな好きみんな嫌いや！知らんけど…
ぢいさんの死に際観たい人募集！
ここからは妄想！ノーマクサラマンダー

先月号の
お気に入り

その辺の話は塀を越えてから 米山明日歌
人によって塀の高さは違うけど…ま、いいか。超えたら
知らせてね。

夏草ふぶき

【なつくさふぶき・青森県青森市】

缶ビールから溢れ出る督促状
手ごたえを感じるための自虐ネタ
おつとどっこい踏ん張っている欠け茶わん
力水こぼしてしまふ勝負の日
がじよがじよな人も逝くのかバカヤロウ

先月号の
お気に入り

くしゃくしゃと丸めて二人ほど捨てる 石橋芳山
ただ捨てるんじゃないのね、それいわ〜

鳴海賢治

【なるみけんじ・青森県つがる市】

フランスパン切つても切つても風見鶏
家は苦しい 夏の雲は正しい
ダイヤル式電話固形石鹼派
ラクダの背中ならテンポを変えよう
想像をしたことが起きている否

先月号の
お気に入り

左折してみんな虫になってゆく むさし
説得力を感じました。

ひとり静【ひとりしずか・奈良県大和郡山市】

虫さされ擦り傷かぶれ夏の草
夏だからポキポキ折れていいのです
ただのつてつけると楽になる心
ラスカルがいつぱいありふれたところに
傷数多ヒーローだった一本足

先月号のお気に入り
わかりやすく言つと毛のような人
あの方ですよ。悪いけどパスします。
Siri

ひらく【ひらく・青森県蓬田村】

東風吹く木々は緑の息を吐く
海の底紅いサンゴの白い息
濃霧中成りたい自己の靴の音
山肌は白く急カーブの人生
栗の花ポタリバトンは繋がった

先月号のお気に入り

まき【まき・青森県青森市】

始まりは君の変顔そして雨
あの時の雨が背中ではしゃいでる
Vサイン出せばだあれも居なくなる
居酒屋に並ぶウフとけものみち
上機嫌で踊る きのうきょうあした

先月号のお気に入り
空は落ちない愚かさに気付いても
納得。わたしも落ちないようにします。
吉田州花

まみどり【まみどり・青森県黒石市】

インタビュータじろぐことは何も無い
旅慣れたカメラ目線の標準語
紫陽花が美しすぎて邪魔になる
手を触れただけです虫になつかれる
傷口を広げぬように回り道

先月号のお気に入り
アダルトな骨の折り方置み方
何事も大人の対応が大事です。
奈良一艘

向山タエ子【むこうやまたえこ・青森県青森市】

おさがりの色鉛筆に白が無い
でこぼこの心さすつてくれる涙
幸 不幸 まるめてシェーク一気呑み
石頭にきんきらきんを振り掛ける
ババロアと水羊羹は恋敵

先月号のお気に入り
ありふれた朝を訃報がノックする
この半年間で知人が三人亡くなりました。この次は私が
誰かをノックするのかも……。
葉閑女

村上あつこ【むらかみあつこ・青森県青森市】

私の隣にもう一人のワタシ
自己嫌悪引きずつたまま半世紀
煮え切らぬ話グチャグチャカラスカー
私からあなたを抜いて残る穴
だるまさんが転んだ起き上がれない

先月号のお気に入り
スイッチオフ叱咤激励いりません
これ以上は頑張れませんので叱咤激励はご遠慮申し上げます。
ひとり静

守田啓子【もりたけいこ・青森県青森市】

会えるような気がして雨の日の洗車
波無音笑わない人の死亡率
もう会えないくせにこんなに凜る海
待つても待つても来ない会いたくない人
自由という遺産 かあさんからあなたへ

先月号のお気に入り
何かしら余分で足りなくて立った
立って済むなら立ちましよう。
まみどり

葉閑女【ようかんによ・青森県青森市】

藤椅子が招く陽だまり子守歌
鬼が来るチイサクチイサクチイサクなあれ
返信もできず安酒選んでる
孫曾孫そろって二十三回忌
遠い日の夕暮れと聞く虫時雨

先月号のお気に入り
納涼図西瓜が一つあればよい
シンプルイズベスト！
小野五郎

吉田州花

「よしだしゅうか・青森県青森市」
このままで春から夏へただ杉菜
思い出は薄たなびく野の向こう
余白には乱雑にまつすぐに芒
ゆうらりとほどけて吾亦紅になる
忘レテハイケナイという吾亦紅

先月号の
お気に入り

アダルトな骨の折り方置み方 奈良一艘
それがわかるから悲しい

吉田吹喜

「よしだふぶき・青森県弘前市」
自由つちや自由 星空ピンボール
わたくしが何をしたって 紅い月
さすがーさすがーさすがーって流す
リュウグウがムシに刺されたそうですよ
結構なお手前でした 今日空

先月号の
お気に入り

持っているボタンを全部出しなさい 小野五郎
えーっ 全部ですか？全部は堪忍して

吉見恵子

「よしみけいこ・青森県青森市」
革命の頭となりぬ五三日
日は昇り日は落ちてゆく手の窪み
眼を閉じる川の行き先なぞるとき
与えたように与えられては紋黄蝶
ゆすらうめ夏の深部へ落ちてゆく

先月号の
お気に入り

むさし

「むさし・青森県蓬田村」
記憶からカコンカコンとラムネ玉
出口から入り入口から帰る
大聖堂の裏口に棲むアリジゴク
ブラックホールの衿のあたりの話し声
心の穴に行き来しているオニヤンマ

戦場で見る

8月3日(土) 午後1時～ アウガ5F小会議室

▼出席者(15名)

小野五郎・木村美映・熊谷冬鼓・坂本清乃・北野岸柳・渡邊こあき・まきこ・夏草ふぶき・須藤しんのすけ・むさし・土田雅子・奈良一艘・Sin・守田啓子・笹田隆志

▼投句者(11名)

米山明日歌・岩根彰子・吉田吹喜・村上あつこ・芝岡勘右衛門・鳴海賢治・城後朱美・葉閑女・まみどり・きさらぎ彼句吾・三浦蒼鬼

おかじょうき川柳社 8月例会

席題『浜』

青森県青森市

小野 五郎選

【佳作】

人魚姫打ち上げられた浜にいる
木村美映

浜茄子の陰に幼女の青い靴
渡邊こあき

浜辺から禅問答が鳴り響く
奈良一艘

波が笑うから象形文字が現れる
夏草ふぶき

砂浜に足をとられて気づく人
渡邊こあき

大波小波本音を吐いて人になる
坂本清乃

紙の月忘れられない浜緋
須藤しんのすけ

浜菊の白に決断迫られる
まきこ

なんとなく小野小町な八月の浜
守田啓子

浜風を受けて充電してる松

渡邊こあき

前頭葉が砂浜になる裏メニュー

むさし

浜美枝の後ろ姿や砂日傘

土田雅子

鳴き砂きゅつきゅつシーラカンスの貌でいる

まきこ

サーファアのズルい足跡から夕日

須藤しんのすけ

ハマヒルガオが叫んだ星が降るらしい

むさし

【秀逸】

外ヶ浜ここが死に場所なのだろう
北野岸柳

ヌーデイストビーチの砂も悪くない
奈良一艘

砂浜に誰も座らぬ椅子がある
夏草ふぶき

【特選】

半分は渚で死んでみませんか
奈良一艘

* 半分とは何か。何の半分なのか。謎めいている。
インパクト大きい。

席題『浜』

青森県青森市

木村美映選

【佳作】

嘘くさい映画だ浜風が笑う
夏草ふぶき

ハングルが浜で擬態をくり返す
熊谷冬鼓

浜美枝の後ろ姿や砂日傘
土田雅子

浜茄子の陰に幼女の青い靴
渡邊こあき

世の中のせいにして眺めている水着
S i n

保証人不要物件 海は時化
守田啓子

恥骨結合部から始まる渚
小野五郎

サーファアのズルい足跡から夕日
須藤しんのすけ

方向音痴でテトラポットにされちゃった
熊谷冬鼓

浜に出てボボブラジルのような夜

小野五郎

浜菊の白に決断迫られる

まきこ

外ヶ浜ここが死に場所なのだろう

北野岸柳

鳴き砂きゅつきゅつシーラカンスの貌でいる

まきこ

浜辺から禅問答が鳴り響く

奈良一艘

半分は渚で死んでみませんか

奈良一艘

【秀逸】

前頭葉が砂浜になる裏メニュー
むさし

ハマヒルガオが叫んだ星が降るらしい
むさし

波が笑うから象形文字が現れる
夏草ふぶき

【特選】

ヌーデイストビーチの砂も悪くない
奈良一艘

* うん、悪くない。マルセイユあたりならなお良し。

宿題『羽』

青森県青森市

守田啓子選

【佳作】

うやむやになるまで畳んでおく羽
過去形を畳み返して鶴は飛ぶ
時々むず痒くなるんだ野心の付け根
詮索しない昨日の羽についた露
虫食いの羽衣今日も二日酔い
ごめんねが残る耳 羽音クレッツシエンド
私から離れないでと羽を撃つ
もし羽がなんて金魚は思うまい
片方の羽根はどこかとゴビ砂漠
羽一枚生えた位じゃ飛べないよ
羽化を待つダブルワークの沼の底
羽ばたいて見せた泣いても見せたアリ
羽だもの返納しろと言われても
飛びなさい天使の羽をもぎとって

米山明日歌
きさらぎ彼句吾
岩根彰子
米山明日歌
まきこ
S i n
渡邊こあき
熊谷冬鼓
坂本清乃
土田雅子
土田雅子
鳴海賢治
吉田吹喜
芝岡勘右衛門

親族ほろほろ餃子の羽ほろほろ
洗濯をした羽がまだ乾かない
持ち歩く鳥の羽根の重さだけ
目を閉じて翼を閉じて飛んでいる
熱帯夜デビルの羽が生えそろう
八月が羽音をさせて湯を沸かす

【五客】

羽がなくても私は飛べる空をもつ
羽根のないトリだ一人というトリだ
行政の主導で羽を生やします
論理的責任とって羽根を切る
眠いので羽音たてずに来て下さい

【人位】

私には私の羽根があるのです

【地位】

翼よあれが廃炉だ 時のクレバスだ

【天位】

あのね 羽化しちゃいけないってママが

* 大切な娘ですから…。

熊谷冬鼓
渡邊こあき
北野岸柳
むさし
葉 閑女
奈良一艘
夏草ふぶき
奈良一艘
小野五郎
鳴海賢治
小野五郎
北野岸柳
むさし
S i n

宿題『カード』

青森県蓬田村

むさし選

【佳作】

キャッシュレスなんだかちよつとつままない
メッセージは白紙見えないトゲ添えて
切り札を五枚使える夏休み
大塩の乱猷血カード足りません
自転車を漕ぐとカードが焦りだす
レッドカード引き連れこの世徘徊中
切り札は第二ボタンのあたりです
カードへらへらもうすぐ僕も期限切れ
ポイント10倍パンの耳まで買っちゃまう
切り札を出すと漂う加齢臭
は？馬鹿なの？って最後に切るカード
診察券ばかりが増える遠花火
ドナーカード真ん中辺に降る小雨
あの人は捨てたのかしらカードキー

吉田吹喜
きさらぎ彼句吾
須藤しのすけ
小野五郎
夏草ふぶき
まきこ
米山明日歌
奈良一艘
熊谷冬鼓
夏草ふぶき
土田雅子
熊谷冬鼓
まきこ
葉 閑女

カードキー開かないドアを詰ってる
めんきよしよは妻にとられたままである
騙されているかもしれぬリボ払い
カード払いを肩紐に覗かれた
肩書きのない名刺が槍の先にある
大量のテレカ豆まきでもするか

【五客】

マイナンバーカードに絡む豆の蔓
ジョーカーが笑う門には熱帯夜
カードいりません欲しいものありません
ジョーカーの捨て時 セルフレジ2番へ
読みかけの本に差し込む診察券

【人位】

ご自由にどうぞ 延命治療拒否カード

【地位】

焦げ目あるカード渡され不眠症

【天位】

戦場で見る花札の月の位置

* 戦場は賭場だったのか…(汗)

笹田隆志
北野岸柳
吉田吹喜
岩根彰子
三浦蒼鬼
葉 閑女
熊谷冬鼓
奈良一艘
渡邊こあき
守田啓子
須藤しのすけ
守田啓子
守田啓子
坂本清乃
須藤しのすけ

宿題『自由詠』

青森県青森市 渡邊こあき選

【佳作】

フリーズで逃げるパソコンのずるさ
あきらめて馬鹿な男のおおを見る
飲んでみて初めてわかることがある
尿道の70年の語尾変化
五万本のひまわり園にある恨み
寂しさを辿っていけばおもちゃ箱
そのドアは麻薬ノックをやめなさい
メガネ拭ききつちり持論言い放つ
寂しき独占禁止法で捕まりそうだ
夏満開カボスはカボスのまま暮らす
八月の抜け殻 庭には濃紫陽花
切り捨てた音が猛暑と打ち寄せる
短夜の栗せんざいの目くらまし
いざという時に逃げ込む箱がない

木村美映
北野岸柳
小野五郎
むさし
城後朱美
芝岡勘右衛門
葉 閑女
まきこ
S i n
土田雅子
熊谷冬鼓
熊谷冬鼓
土田雅子
熊谷冬鼓

食べるでも飾るでもない女です
生きているあちこち悲鳴上げながら
先の戦争見かけたひとは一歩前
異常のい濁点三つ打っておく
異分子と言われゴーヤが席を立つ
グリコでもモーツァルトでも埋まらない

【五客】

病葉は流れる川を選べない
鈍い音します男のファンファーレ
過去形にしておとぎ話にしちやえ
致死量の朝日を浴びて死ぬつもり
臍の下あたりにあつた天の川

【人位】

チョット涼みに海鮮丼へ沈む

【地位】

ダイエツト草茫茫になりました

【天位】

黙禱が招いた遠い日の笑顔

* 朝一の電話。計報が。思い出す笑顔が増える一方です。

米山明日歌
村上あつこ
鳴海賢治
まきこ
夏草ふぶき
きさらぎ彼句吾
奈良一艘
三浦蒼鬼
きさらぎ彼句吾
奈良一艘
むさし
岩根彰子
岩根彰子
岩根彰子
葉 閑女

順位	氏名	打率
1	奈良一艘	0.738
2	むさし	0.690
3	守田啓子	0.521
4	夏草ふぶき	0.509
4	まきこ	0.509
6	田久保亜蘭	0.500
6	熊谷冬鼓	0.500
8	きさらぎ彼句吾	0.491
8	土田雅子	0.491
10	月波与生	0.472
11	須藤しんのすけ	0.429
11	米山明日歌	0.429
13	小野五郎	0.407
14	吉田吹喜	0.389
15	葉閑女	0.350
16	渡邊こあき	0.333
17	まみどり	0.302
17	岩根彰子	0.302
19	木村美映	0.292
20	北野岸柳	0.278
21	鳴海賢治	0.270
22	城後朱美	0.222
22	村上あつこ	0.222
22	柳谷たかお	0.222
25	笹田隆志	0.200
26	坂本清乃	0.148

打率【選句率】※規定投句数は最大可能投句数の50%

順位	氏名	打点
1	むさし	53
2	奈良一艘	49
3	夏草ふぶき	44
4	きさらぎ彼句吾	43
5	米山明日歌	42
6	土田雅子	39
6	須藤しんのすけ	39
8	まきこ	38
9	守田啓子	37
10	田久保亜蘭	34
10	熊谷冬鼓	34
12	小野五郎	30
13	岩根彰子	28
14	月波与生	27
14	吉田吹喜	27
16	葉閑女	26
17	まみどり	22
18	鳴海賢治	20
18	北野岸柳	20
20	石橋芳山	19
21	城後朱美	18
21	木村美映	18
21	渡邊こあき	18
24	村上あつこ	15
25	笹田隆志	14
25	三浦蒼鬼	14

打点【総得点】

順位	氏名	本数
1	むさし	8
2	夏草ふぶき	5
2	土田雅子	5
2	米山明日歌	5
5	きさらぎ彼句吾	4
5	奈良一艘	4
7	守田啓子	3
7	岩根彰子	3

本塁打【3点句数】

三冠王への道

【三冠王への道】本社句会宿題詠で、打率（抜句率）・打点（総得点）・本塁打（3点句の数）を競うもの。

―参加者募集―

「川柳吟行会 ぽ」

―写しにある灯台―

熊谷冬鼓



7月の第3水曜日。吟行は年間20隻ものクルーズ船が寄港するという青森港新中央埠頭。この日は残念ながらクルーズ船の寄港は無く、なにやら大勢の人が汗だくで働いていた。チラシを見せてもらったら、金・土・日の三日間イベントがあるらしい。子供たちの夏休みに合わせたように「こども跳人コンテスト」や「わんぱくねぶた囃子発表会」など子供中心のイベントのようだ。会場には特産物や美味しいものブースもあり全国の有名店の出店もあるらしい。埠頭、海、灯台以外にも霞んだ水平線や街並み、イベント準備の

様子と情報は盛りだくさん。さあ句会場のアウガに移動して作句だ！

戸籍抄本附票の写しにある灯台 守田啓子

の長い書類名を組み込んでしまう力技には参った。

長いので附票か写しは抜いたらどうかという意見もあったが、役所の書類のリアルさがいいと高得点だった。戸籍抄本から作者の歴史や思い出、灯台からは指標や道標を連想。付き過ぎない灯台との組合せに好評価。17音の中にこ

ビザなし交流突発性湿疹 小野五郎

あの丸山議員の戦争発言を突発性と表現したことに評価。湿疹のむず痒さがイライラ感を表現するには絶妙と好評価。私はビザなし交流からすぐには北方領土を連想できず読み解けなかった。勉強不足を痛感。

海峡のどこかに錆びた羅針盤 滋野さち

漂流する船を連想し不安感を感じたとの意見。海峡のどこかでのいいのかとの意見に対し、海峡の広さに対し、錆びた作者の小ささを表現していいという意見。

曇り空どこからともなく墮天使 吉見恵子

雲間から差し込む光、天使の階段からの連想か。墮天使に負のイメージがあるとの意見もあったが、小さな悪魔、ファンタジーを感じるとの意見。

プロムナード海から空へ天国へ 渡邊こあき

海から徐々に高みに読んだのがいいとの意見

パイプ椅子重ねて灯台まで百歩 熊谷冬鼓

重ねては並べてにしてはとの意見。見たままの句だったと反省。

吟行の楽しさは目に映った景色や物に触発されるところだろう。灯台も羅針盤も特別なワードではないが吟行したことと句に仕上がったのだと思う。他の句にはホルムズ海峡やパリのカフェ、遣唐船までも発想を飛ばした句もあった。吟行ならではと思う。

どうしても句会場所付近での吟行になってしまうのが課題だが、遠出も検討中である。

「川柳吟行会 ぽ」 10月吟行

【吟行日時】 10月16日(第3水曜日) 弘前駅前11時集合

【吟行場所】 弘前公園周辺予定

【句会場所】 弘前市内施設(問合せ中)

【参加費】 100円

十和田たてがみ川柳会7月句会

【時】令和元年7月20日(土)

【所】十和田労働福祉会館

【出席者】漆館ミノリ・久保あざみ・木村奈生美・

斉藤蛙井・佐藤まさあき・瀧尻善英・福田芳詔・

村上昌子・高田幸柳

【投句者】磯島雅男・城後朱美

■席題『電話』

高田 幸柳 選

【平抜き】

飲み会の電話に妻の浮かぬ顔
聞き上手母の電話は温かい
鳴り止まぬ受話器の向こうの深い闇
長電話占領されたひと昔
昔からいました酔うと電話好き
明日にはノスタルジーとなる電話
寄り添って心の声を聴く電話
黒電話博物館へ指定席
おとなりもマナーモードの通夜の席

佐藤まさあき 蛙井
斉藤 蛙井
福田 芳詔
福田 芳詔
村上 昌子
木村奈生美
瀧尻 善英
佐藤まさあき

【秀逸】
一本の電話が人生変えてくれ
ストレスも愚痴も吐き出す長電話

【特選】
糸電話縫れアナタを探せない

■席題『電話』

瀧尻 善英 選

【平抜き】

聞き上手母の電話は温かい
合格に声弾んでる電話口
ケイタイが財布手帳を兼ね備え
ケイタイにメモをテープで貼っておく
恋心もしもし電話甘い声
飲み会の電話に妻の浮かぬ顔
顔なしの電話の向こう百面相
同級生国政選挙だ電話来る
着電で今何してる暇潰し
おとなりもマナーモードの通夜の席
寄り添って心の声を聴く電話
【秀逸】
明日にはノスタルジーとなる電話

齊藤 蛙井
佐藤まさあき
高田 幸柳
高田 幸柳
久保あざみ
佐藤まさあき
村上 昌子
福田 芳詔
久保あざみ
佐藤まさあき
木村奈生美
村上 昌子

昭和には村に一個の黒電話

久保あざみ

【特選】

ストレスも愚痴も吐き出す長電話

木村奈生美

■宿題『的中』

久保あざみ 選

【平抜き】

ポーカーフェイスも顔に出した凶星
手相見に老後はいいと今老後
ターゲットされた穴開きぼやく艦
想定外予報はずれの恨み雨
願わくばドカンと一発宝くじ
不器用に生きた外ればかりする
今のツボしつかり押さえ揉み解す
善人が的中される鬼ごっこ
総合医原因特定解き放つ
逃げ腰のボクに流れ弾が当たる
いい加減夢はいらない宝くじ
事故現場高齢ばかり的にされ
カラス鳴く嫌な予感がよく当たる
【秀逸】
第六感外れてほしい事ばかり

村上 昌子
漆館ミノリ
磯島 雅男
斉藤 蛙井
村上 昌子
木村奈生美
磯島 雅男
木村奈生美
福田 芳詔
瀧尻 善英
高田 幸柳
磯島 雅男
高田 幸柳
村上 昌子

瀧尻 善英
木村奈生美

瀧尻 善英

よく当たる占いだけを記憶する

高田 幸柳

【特選】

山勘がびたりテストの第一問

瀧尻 善英

■宿題『丁寧』

齊藤 蛙井 選

【平抜き】

結納が済めば丁寧語が溶ける
ふところへ丁寧に詰め込む希望
丁寧なお詫びの裏で指を折る
丁寧に欠ける老後の2000万
効率に押されて消える丁寧さ
ていねいな言葉で妻が怒り出す
丁寧が過ぎて無礼が顔を出す
丁寧は言葉の裏に何かある
丁寧な口調に込めたプレッシャー
【秀逸】
今さらにアニメーションの深さ知る
丁寧に包んでおいた嘘がバレ
【特選】
入念に消す戦から継ぐ欺瞞

瀧尻 善英
木村奈生美
高田 幸柳
磯島 雅男
福田 芳詔
瀧尻 善英
村上 昌子
佐藤まさあき
高田 幸柳
久保あざみ
高田 幸柳
瀧尻 善英

□ 2019.09.23 第1回川柳忌黒石川柳大会

【日時】令和元年9月23日(祝・月)受付:午前9時 席題発表:午前10時 投句締切:午前11時【会場】グリーンパレス松安閣 黒石市乙徳兵衛町34(駅から徒歩5分)電話0172-52-3850【会費】4千円(昼食・懇親会費・発表誌)【席題】(2句詠)「 」千島鉄男・まきこ共選【宿題】(2句詠)『チェンジ』高瀬霜石・山野茶花子共選『染』むさし・千葉かほる共選『伝』田沢恒坊・船水葉共選『光る』滝尻善英・沢田百合子共選【特別選】(折句1句詠)「 」野沢省悟・八木田幸子・成田我楽三人選 * 選者一部交渉中【呈賞】宿・席題の合点20位まで及び特別選の第3位まで【主催】黒石川柳社【連絡・問い合わせ先】090-7933-6064(三浦蒼鬼)

□ 2019.09.29 第73回青森県川柳大会

【日時】令和元年9月29日(日)午前10時から【場所】リンクステーションホール青森(青森市文化会館)5階大会議室(青森市堤町1-4-1)【特別選】「地」(1人2句)事前投句8月29日必着・梅崎流青選【宿題】(1人各2句)事前投句8月29日必着「袋」笹田かなえ・内山孤遊共選「号」沢田百合子・野沢省悟共選「スリル」滝尻善英・田沢恒坊共選「おしゃれ」千島鉄男・田鎖晴天共選【席題】当日2題出題(1人各2句)「 」岩崎真里子・高瀬霜石共選「 」佐藤ぶんじ・工藤青夏共選【投句】専用紙のない方ははがき大の紙5枚を用意し、1枚の紙に特別選、宿題の各題2句ずつ、必ず楷書で書き、洋紙の右上に特別選、それぞれの宿題名を記入してください。いずれか1枚の裏面に住所・電話番号・雅号または本名・懇親会の出欠を明記。大会会費3千円(郵便小為替)を同封の上お送りください。※投句する作品はすべて未発表に限り、開催要項ならびに専用紙は「東奥日報文化財団ホームページ」からもダウンロードできます。http://www.toonippo.co.jp/z-bunka/ 送り先 郵便番号030-0180 青森市新町2-2-11 東奥日報新町ビル2F 東奥日報文化財団事務局「県川柳大会係」宛 問い合わせ先:電話017-718-5115 東奥日報文化財団まで【会費】3千円(昼食を含みます)【懇親会】大会終了後、特別選者を囲んで開きます。会費は千円。大会当日、会場内受付にてお支払い下さい。

□ 2019.10.06 第56回五所川原川柳大会

【日時】令和元年10月6日(日)午前9時30分受付(席題発表10時30分)投句締切11時30分【会場】五所川原市中央公民館1階大ホール【会費】4000円(昼食・懇親会・発表誌)【宿題】(2句詠)『紙一重』北山まみどり・むさし共選『無垢』八木田幸子・千島鉄男共選『使い手』菊池京・岩崎雪洲共選【席題】(2句詠)2題『 』大黒谷サチエ・野沢省悟共選『 』渡邊こあき・稲見則彦共選【特別課題】(1句詠)『奇遇』守田啓子・佐藤雅秀・濱山哲也・千葉かほる・太田久共選 ※投句拝辞 ◇ 選者は交渉中【賞】宿・席題合点20位まで・特別課題3位まで【連絡】0173-34-3698 沢田百合子さんまで【主催】川柳岩木吟社・五所川原市文化振興会議

十和田たてがみ川柳会9月句会

【時】9月21日(土)午前10時00分から【所】十和田労働福祉会館【宿題】(各題3句詠)『内緒』久保あざみ選/『涙』斉藤 蛙井選【互選】(2句詠)『斜め』当日出席者のみ(句箋の裏に雅号記入)【席題】一題(三句詠・共選) / 選者は、滝尻善英ほか出席者から一名【投句先】〒034-0049 十和田市西二十二番町2-21 十和田労働福祉会館 高田幸柳

■宿題『点滅』

- ①ときめきの点滅消した別離の日
- ①人生にメリハリつけるオンとオフ
- ①心にも点滅がある立ち止まれ
- ①点滅のコースが示す自己主張
- ①着信の点滅がない金曜日
- ②場違いな点滅だった七光り
- ③後悔の点滅消えず胸の奥
- ④赤信号点滅している核競争
- ④夏の世の画布へ点線引くホタル

互選

- 斉藤 蛙井
- 瀧尻 善英
- 久保あざみ
- 木村奈生美
- 高田 幸柳
- 高田 幸柳
- 高田 幸柳
- 斉藤 蛙井
- 佐藤まさあき
- 瀧尻 善英

『アウガ川柳教室』のお知らせ

【場所】青森駅前「アウガ」5階

【日時】毎月2回 第2・4火曜日13時~14時半

【講師】おかじょうき川柳社 代表 むさし

【受講料】1回 500円

□ 9/10(火)「九月」 □ 9/24(火)「星」 □ 10/8(火)「応える」

□ 10/22(火)「貌」 □ 11/12(火)「消す」 □ 11/26(火)「貸す」

●投句先:〒030-1212 青森県東津軽郡蓬田村阿弥陀川字汐干43-3
むさし宛/TEL.0174-27-2008 / E-mail: hmusashi@r66.7-dj.com

おかじょうき川柳社 作品募集案内

□ 2019.09.15 ㄨ FM青森チャレンジ川柳！むさし流！

毎週土曜日お昼12時から放送中！ 入選→秀逸→特選と毎週3句を紹介。9月15日締切。10月放送【題】「火」【投句先】〒030-0812 青森市堤町1丁目7-19 (株) エフエム青森 チャレンジ川柳！むさし流！係 ※FM青森のホームページからも投句できます。FAX:017-735-1186もOKです。



□ 2019.9.20 おかじょうき会員雑詠集「無人駅」5句(11月号分)

【締切】9月20日必着【掲載】11/10発行号【提出先】〒030-0861 青森市長島4-23-4-102 守田啓子宛 FAX017-723-5696【ネットからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/mujineki.html>



□ 2019.10.05 おかじょうき川柳社本社10月句会

【時】10月5日(土)午後1時～【所】アウガ5階小会議室【宿題】(各題3句詠)『小』/『システム』/『自由詠』選者は当日決定【席題】1題3句詠・2人共選【研究吟】自由詠1句【投句締切】句会前日必着【投句先】〒030-0861 青森市長島4-23-4-102 守田啓子宛 FAX017-723-5696



□ 2019.10.15 ㄨ FM青森チャレンジ川柳！むさし流！

毎週土曜日お昼12時から放送中！ 入選→秀逸→特選と毎週3句を紹介。10月15日締切。11月放送【題】「ほろほろ」【投句先】〒030-0812 青森市堤町1丁目7-19 (株) エフエム青森 チャレンジ川柳！むさし流！係 ※FM青森のホームページからも投句できます。FAX:017-735-1186もOKです。



□ 2019.11.02 おかじょうき川柳社本社11月句会

【時】11月2日(土)午後1時～【所】アウガ5階企画ワーク室③④【宿題】(各題3句詠)『加』/『ショー』/『自由詠』選者は当日決定【席題】1題3句詠・2人共選【研究吟】自由詠1句【投句締切】句会前日必着【投句先】〒030-0861 青森市長島4-23-4-102 守田啓子宛 FAX017-723-5696【ネットからの投句】<http://www.okajoki.com/toku/>



※この用紙を切り取るか、コピーしてお使いください。

会員雑詠「無人駅」投句用紙

柳号

住所

府 都 道
県

町 区 市
村

※楷書でハッキリとお書きください。

★お気に入りの一句(最新号からお好きな作品一句と、それに対する簡単なコメントをお書きください。)

コメント

【投句先】
〒030-0861
青森市長島4-23-4-102
守田啓子 宛
FAX.017-723-5696

■会費拝受（7月受付分） ※太字は新会員

三浦蒼鬼（黒石市） / 香田龍馬（大鰐町） / 須藤しんのすけ・奈良一艘（弘前市） / 野口三代子（愛媛県）
/ 桜田富士江（蓬田村） / 木村奈生美（十和田市） / 村上あつこ（青森市）

■おかげょうき川柳社 会員募集中！

会員ならびに当誌購読希望の方は、下記の口座までお振り込み下さい。

→郵便振替 No.02280-6-43112 口座名：おかげょうき川柳社

→会費：6,000円（1年分）

おかげょうき川柳社 お問い合わせ先

●投句以外のことについてはこちらへ●

熊谷冬鼓 toko@okajoki.com FAX.017-752-3759

●投句全般についてはこちらへ●

守田啓子 moriko@okajoki.com

〒030-0861 青森市長島 4-23-4-102 FAX.017-723-5696

--- 終着駅 Sin ---

◆8月18日に松山市で行われた「第22回俳句甲子園」で、なんと青森県の弘前高校が優勝を飾った。頭の良さとは比例するものではないと思うが、あの偏差値79の灘高を倒しての優勝は素晴らしいの一言に尽きる。青森の若い世代にも俳句文化が広がっているとは、テレビ番組の影響はやはり大きいものだと改めて思い知らされた。川柳の世界でも同じような大会を開ければいいのだが、それでも若い世代が短詩系の文芸に触れることは川柳にとってもプラスになってくれるだろう◆川柳ステーションで行っている「川柳コロシウム」はこの俳句甲子園を参考にしている。違いといえば、団体戦というところと討論が主張だけではなく、質疑応答になっているところである。得点表を見ると、作品の点数は

同点で、鑑賞ポイントで優劣が決まっている対決が多くみられる。個人優秀賞になった開成高校の句を覗いてみよう。「中腰の世界に玉葱の匂ふ」この作品を前にしてすぐに質疑応答が始まるとして、私ならどう質問できるかを想像してみた。む…むずい…。「中腰の世界」は玉葱農家の高齢化を表現したのだろうか。玉葱のいい香りと、現代の農業離れを対比させて、より、農業の担い手不足を際立たせていると思うが、「世界」だと少し広くなりすぎていると思うのだが？くらいかな（汗）◆俳句甲子園の動画なんかを覗いていると、緊張して同じ質問をしたり、的はずれな意見もあるが、あの場で叱咤に聞かれたり、意見されたものを、堂々と言い合っている姿は青春だなーと思う。おめでとう！弘前高校！◆Sin

第24回

杉野十佐一賞
作品募集

課題/締切

「れい」(一人2句まで) / 2019.9.30✕

選者

徳永 政二 (滋賀県/「びわこ番傘川柳会」所属)

なかはられいこ (岐阜県/「ねじまき句会」所属)

樋口由紀子 (兵庫県/「晴」編集発行人)

広瀬ちえみ (宮城県/「杜人」所属)

吉松 澄子 (愛媛県/第23回杉野十佐一賞大賞受賞)

むさし (青森県/おかじょうき川柳社 代表)

投句料

1,000円

(発表誌をもって投句料領取したものとさせていただきます/締切日まで投句料が入金された場合のみ作品を受け付けます/切手不可)

応募方法

【郵送の場合】

投句用紙または便箋・原稿用紙に「作品(2句まで)」「郵便番号」「住所」「氏名または雅号(ふりがな)」「電話番号」を明記し、投句料を同封のうえ、下記応募先まで郵送してください。

〒030-0861 青森市長島 4-23-4-102 守田方

第24回 杉野十佐一賞 係まで

【インターネットでの応募】

<http://okajoki.com/tosaiichi/contest/>へアクセスし、作品応募フォームから必要事項を記入して送信してください。送信後、締め切り日までに下記口座に投句料1,000円をお振り込みください。

◆振込先:郵便振替 No.02280-6-43112 口座名 おかじょうき川柳社

発表

月刊おかじょうき 2020年1月号の誌上において発表。

サイト掲載:2020年1月中旬

賞

上位入賞者に青森県特産品を贈呈。

諸権利について

基本的に著作権は作者に帰属しますが、著作権、雑誌掲載権など、作品を自由に利用できる権利は、おかじょうき川柳社に帰属します。

その他注意事項

※作品は応募者の自作で未発表のものに限ります。※郵送でのご応募作品は返却いたしませんので、必要な方はコピーをおとりください。※応募された原稿に関するお問い合わせや、審査結果の問い合わせには応じられません。※個人情報については、許可なく他の目的で使用することはありません。

2019年9月10日発行(年12回発行) 第23巻第9号 通巻307号
●発行人/むさし●編集/Sin●発行/おかじょうき川柳社●表紙題字/金子榮風
青森県東津軽郡外ヶ浜町宇蟹田中師宮本2の3 ●TEL&FAX:0174-22-2119 ●E-Mail:info@okajoki.com